ふれあいネットワーク

あいちのふくし

社会福祉法人愛知県社会福祉協議会
名古屋市東区白壁一丁目50番地
☎(052)212-5500
編集発行人　安藤　貴康
http://www.aichi-fukushi.or.jp/

2017.08
no.488

特集 「我が事・丸ごと」地域共生社会の実現とこれからの社会福祉協議会の役割 02・03
民生委員児童委員活動紹介 …… 04
施設紹介 …… 05
福祉サービス利用支援センターだより …… 06
福祉人材センターだより …… 07
福祉生きがいセンターだより …… 08・09
平成29年度 福祉の星フォーラムを開催します!、第31回 ふれあいフォトコンクール作品募集!、ミニ福祉検定(問題) 10
愛知県共同募金会だより …… 11
「社会福祉手帳」「民生委員・児童委員手帳」販売の申込受付 福祉の保険 ご案内、ご寄付に感謝、ミニ福祉検定(解答) 12

「こころづかい」と「思いやり」

愛知県社協地域社会福祉委員会愛知委員会　委員長
社会福祉法人田原市社会福祉協議会　会長
豊田　慈證

～「こころ」はだれにも見えないけれど「こころづかい」は見える　「思い」は見えないけれど「思いやり」はだれにでも見える～

東日本大震災から六年の歳月が経ちました。あの大災害の後、しばらくの間多くの企業がテレビコマーシャルを自粛し、その代わりに放映された日本広告機構の映像がありました。その中の一つで使われていたフレーズなので、覚えておられる方も多いと思います。

これは大正八年、埼玉県生まれの詩人・作詞家である「宮澤章二」さんの「行為の意味」という詩の一節です。宮澤さんは「あたたかい心があたたかい行為になり、やさしい思いがやさしい行為になるとき、『心』も『思い』も初めて美しく生きる…それは人が人として生きることだ」と行為・行いの大切さを詩っていらっしゃいます。

子供・高齢者・障害者など全ての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる「地域共生社会」の実現にとって、「こころづかい」と「思いやり」こそ大切なキーワードではないでしょうか。

第30回　ふれあいフォトコンクール
中日新聞社会事業団理事長賞
「初めての祭り」　森　伸一郎さん撮影

特集

「我が事・丸ごと」地域共生社会の実現とこれからの社会福祉協議会の役割

国の動向と「我が事・丸ごと」地域共生社会の実現に向けての方向性

生活困窮者自立支援制度のスタートなど、福祉ニーズの多様化・複雑化等の変化とともに、既存制度では対応できないニーズも顕在化してきています。

平成28年6月に閣議決定された「一億総活躍プラン」を受けて厚生労働省において「地域における住民主体の課題解決力・相談体制の在り方に関する検討会（地域力強化検討委員会）」から中間とりまとめが公表されました。既存の制度に基づく縦割りのシステムから地域住民が「我が事」として主体的に取り組める支援や、公的な福祉サービスへの継承を含めた包括的な「丸ごと」の総合相談支援体制の整備等が提示される等、地域福祉推進の新たなステージへと移行しようとしています。

「我が事・丸ごと」地域共生社会実現に向けて目指す3つの地域づくりの方向性

1 自分や家族が暮らしたい地域を考えるといったまさに「我が事」から地域を考え、元気な高齢者の力を生かした活動や、子ども食堂等自分の地域を元気にしようという住民の主体的・積極的な取り組みを広げること

2 「地域で困っている課題を解決したい」という気持ちで活動する住民を増やしていくこと

3 「一人の課題」を地域住民と一緒に解決し学ぶことで、住民一人ひとりを地域の中で支えていけるようにすること

これらの方向性が互いに影響しあうことで、「我が事」という意識が醸成されていくと考えられます。

同検討会委員からは、こういった取り組みは、「一人の課題」から地域づくりに繋げていくこと、地域が変わることで他の個別事例にも還元されていくことであり、まさにコミュニティーソーシャルワーク実践そのものと解することができ、そして、社協活動は「住民主体」の原則に則り、「住民主体のまちづくり」の取り組みとして、社協活動として関わることができているのか否か、社協職員として何を感じ、考えなければならないのか、住民への福祉理解、社会参加促進や支援ネットワークの組織化、アウトリーチによるニーズキャッチ、これら地域に入り込み進めることが現体制で可能であるか否かを今問われていると、述べられています。

＊平成28年度地域福祉力セミナー「我が事・丸ごと」地域共生社会の実現に向けて～地域力検討委員会から見えてきたもの～シンポジウムより意見引用

市町村社協の現状と課題

市町村社協は、地域福祉の推進の中核的な組織として位置づけられ、各種サービスを実施して小地域福祉活動の推進等に取り組んできました。

しかし、地域格差による小地域福祉活動が進んでいない地域も現実あり、何を核として地域福祉を進めるのかが大きな課題となっています。

地域福祉の推進を担う専門職コミュニティーソーシャルワーカーの設置とボランティアセンター機能強化

全社協は平成29年度、市町村社協が行うべく「社協・生活支援強化方針」第2次アクションプランを策定しました。これは国の「我が事・丸ごと」地域共生社会の実現に向けての施策に社協がどうかかわり、どう取り組むかを示したものでもあります。

これらを実現していくには、地域福祉活動推進部門にコミュニティーソーシャルワーカー（以下　CSW）の専門職員の配置と地区担当制を整備して、常に地域に出向き、住民に寄り添い、解決に向けた相談や支援ネットワークの組織化、住民への啓発、様々な支援機関との顔の見える関係の構築など、専任で業務を行うことが必要です。

そして、制度の狭間にある課題を解決するために新しい事業を開発する機能として市町村社協ボランティア

センター（以下　市町村社協ＶＣ）機能の活用が期待されています。

　市町村社協ＶＣは、ボランティア・市民活動等担い手の確保や養成だけではなく、市町村社協のフロントとしてニーズを受け止め、様々な関係機関・団体との橋渡しや連携、協働を図ったり、新しく事業を開発するという機能も備えており、今後はこの市町村ＶＣの活用も重要な視点と考えています。地区社協等の拠点や推進者が存在しない地域は、サロンやコミュニティセンター等を身近な活動拠点として、身近な相談所として、居場所づくりからはじめていくことも一つの方法です。

県社協としての市町村社協支援

　本会といたしましても、市町村社協に対しＣＳＷ養成研修会を今年も開催するとともに、「福祉でまちづくり総合推進事業」の限度額等を見直し申請しやすい事業へと改め、個別支援事業ホップステップジャンプ事業では、拠点整備を図るための助成事業を新設し、小地域活動推進へのきっかけづくりに役立てるよう準備をいたしました。

全社協提示の「社協・生活支援強化方針」第2次アクションプランの取り組み推進（概要）

ア.「社協・生活支援強化方針」第1次アクションプランの5つの行動宣言

1.あらゆる生活課題への対応　2.相談・支援体制の強化　3.アウトリーチの徹底
4.地域のつながりの再構築　5.行政とのパートナーシップ　＊項目は第2次アクションプランへ継続推進

第1次アクションプランの再編

イ.「社協・生活支援強化方針」第2次アクションプランの5つの行動宣言

○強化方針の柱
・あらゆる生活課題への対応　・地域のつながりの再構築
○「強化方針の柱」の実現のために強化すべき行動
1.アウトリーチの徹底
・小地域を単位にしたネットワークの構築　・コミュニティーソーシャルワーカーの確保・育成
・新たな地域ニーズに対応する在宅福祉サービスの展開
2.相談・支援体制の強化（総合相談体制の構築、生活支援体制づくり）
・相談窓口の総合化と職員のチーム対応力向上　・部門間横断の相談支援体制づくり
・多様な生活課題に対する生活支援サービスや福祉活動の開発・実施など
3.地域づくりのための活動基盤整備
・小地域における住民福祉活動の組織と活動拠点の整備（小学校区程度）
・住民主体による福祉コミュニティづくりと住民活動の拡充
・地域づくりに向けた人材確保・育成　・住民参加の連携・協働の体制づくり
4.行政とのパートナーシップ（共通事項）

ウ.取り組みへの前提条件

　取り組みへの前提条件として社協内の一部の人による取り組みではなく、すべての役職員の共通理解によるものでなければならない。強化方針の必要性、取り組み、必要な情報と話し合いのための時間を組織内で確保し、部門を横断した局内連携体制(プラットフォーム)づくりを行い、役職員が一丸となって取り組むことが必要である
1.職員の質の向上　⇒　社協の性格、使命の理解等キャリア別研修や育成体制の構築が必要
2.財源確保　⇒　社会福祉充実残額の活用や投資、多様な民間財源の活用等

エ.今後におけるアクションプランの取り組み

　全社協は、既存の「地域福祉活動計画」、「社協発展・強化計画」への落とし込みや連動、予算の反映等を図る必要があるとともに、現状におけるチェックリスト項目を作成し、実施・到達状況等の評価・分析もできるような各社協独自のアクションプランを策定することが必要である、としています。

民生委員制度創設100周年記念全国民生委員児童委員大会

～支え合う　住みよい社会　地域から～

7月9日（日）、10日（月）の2日間にわたり東京都において民生委員制度創設100周年記念全国民生委員児童委員大会が開催され、民生児童委員会愛知委員会及び愛知県民児連から79名が参加しました。

第一日目は、式典において天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、得能全民児連会長の式辞、塩崎厚生労働大臣、斎藤全社協会長、小池東京都知事の挨拶、

▲愛知県はスカイブルーのユニホームで参加

さらには厚生労働大臣特別表彰、全民児連会長表彰が行われたほか、諏訪中央病院名誉院長の鎌田實氏による記念講演「あたたかい社会をつくる」、そして大会宣言など、記念大会に相応しい充実した内容となりました。

第二日目は、都内6会場に分かれてテーマ別研修が行われ、なかでも小規模発表集会では、愛知県を代表して岡崎市矢作南地区民児協と弥富市民児協から事例発表がありました。

▲岡崎市矢作南地区民児協　「高齢者がいきいきと暮らせる“まち（学区）づくり”」

岡崎市矢作南地区民児協からは、学区福祉委員会・関係機関等との連携・協働による高齢者の生活不安や孤立の解消を図るサポート体制づくりが紹介されました。

また、弥富市民児協からは、市社協が実施する昼食会事業へ参加協力したことにより、ひとり暮らし高齢者との顔の見える関係ができたほか、委員相互の団結力が向上したことなどの成果が報告されました。

▲弥富市民児協「ひとり暮らし高齢者対象の『ふれあい昼食会』への参加協力」

大会宣言

一、「民生委員児童委員信条」を胸に、常に地域住民の立場に立った活動を行います

一、地域共生社会の実現に向けて、地域のつながり、地域の力を高めるために取り組みます

一、さまざまな課題を抱えた人びとを支えるために、幅広い関係者、関係機関との連携・協働を一層進めます

一、我が国の未来を担う子どもたちが健やかに育つことができるよう、子育てを応援する地域づくりに取り組みます

一、民生委員・児童委員制度を守り、発展させていくため、住民にとってより身近な存在となるよう周知活動に取り組み、その理解を広げます

平成29年7月9日

施設紹介

社会福祉法人　としなが福祉会　グループホームなごみ

なごみでのんびりとゆったりとした生活

管理者　山崎　隆之

共同生活援助事業グループホームなごみは、社会福祉法人としなが福祉会が運営する平成26年にオープンした三つ目のグループホームです。

社会福祉法人としなが福祉会は、平成8年9月に法人認可を受け、翌年9月に障害者支援施設ホタルの郷を開所いたしました。現在は、4事業（障害者支援施設（入所）、生活介護事業、共同生活援助事業、相談支援事業）を展開し、利用者さん約90名の支援を日々行っております。

法人理念である「地域に深く根ざしたより高い福祉を積極的に推進する」、「『論より愛』の心を燃焼させ人間愛豊かな施設を目指す」を職員一人ひとりが自覚し、支援にあたっております。

としなが福祉会のグループホームは、平成21年に女性専用のフレンド1、平成23年に男性専用のフレンド2が、地域との結び付きを重視して地域で生活できるように入居定員4名で事業開始しました。

なごみは、入居定員が4名で高齢重度障害者（主として知的障害者）向けのグループホームです。現在65歳から76歳までの男性2名、女性2名が生活しています。4名の平均年齢は、71歳です。この4名は、なごみに入居する前は、当法人の障害者支援施設ホタルの郷で生活していました。

当時の様子は、ホタルの郷、短期入所、日中一時支援のそれぞれの利用者さん計50名前後の方が限られた空間の中で起床から就寝まで規則正しい生活を送っていました。しかし、10代から70代の利用者さんが概ね同じ日課で暮らす時に、若い利用者さんと高齢の利用者さんとの間に生活リズムの違いが多く見受けられました。

20代の若くて元気な利用者さんが、常に走り回っている横を高齢の利用者さんがふらふらと歩いている。「危ない」と声をあげた場面が何度あったことか。実際に両者がぶつかり怪我をしてしまう事もありました。怪我をしたのは、決まって高齢の利用者さんだけでした。現在は、この様な生活から一変し、怪我をした利用者さんを含めて、高齢の利用者さん4名は、なごみでのんびりとゆったりとした流れの中で生活をしています。平日の日中は、なごみに隣接している当法人の生活介護事業所すまいるで過ごし、夕方、なごみに戻ってきます。週末の土曜日、日曜日もなごみで過ごしています。4人は、みんな自分たちのペースでゆったりとした生活を楽しんでいます。

福祉サービス利用支援センターだより

福祉サービスに関してお困りの事はありませんか？

利用しているサービスで
お困りのことがありましたら、
まずは、福祉サービスを
提供している
事業者にご相談ください。

それでも解決が困難な場合には…

運営適正化委員会にご相談ください。

運営適正化委員会は、社会福祉法第83条に基づき、福祉サービス利用援助事業の適正な運営や福祉サービスに関する利用者等からの苦情を適切に解決することを目的として各都道府県社会福祉協議会に設置されている委員会です。

愛知県における平成28年度の問合せ受付総数は325件で、その内訳は、苦情受付158件、福祉サービスに関する相談・問合せ167件です。

グラフ1（利用者種別内訳）のとおり、苦情受付158件の中では、障害者分野が大半を占めています。

また、グラフ2（苦情の内容内訳）のとおり、「職員の接遇」や「サービスの質や量」に関することが、苦情内容全体の70％、111件となっています。

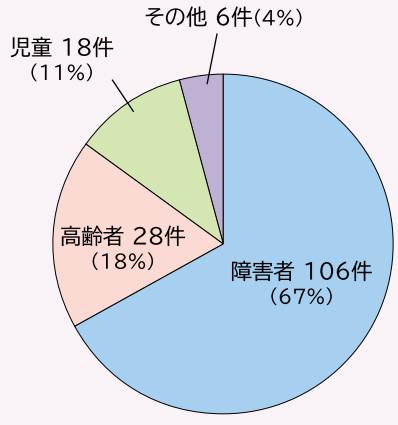
苦情の申出については、事業所段階で申出人、苦情受付担当者、苦情解決責任者、また必要があれば公正・中立な立場の第三者委員も一緒に話し合いによる解決を図ることが第一義です。それでも解決しない場合や事業者に直接言いにくい時に、運営適正化委員会へご相談いただくことになっています。

お気軽にお問合せください。

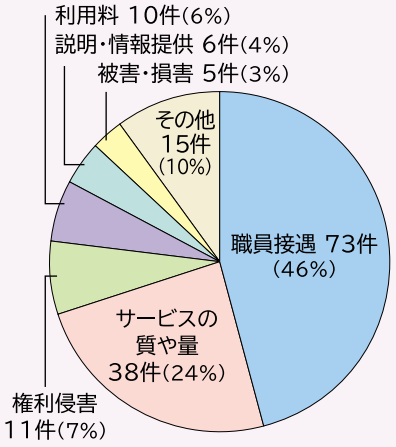
運営適正化委員会は、利用者と事業所のよりよい関係を築いていただくための機関です。

福祉サービスを利用されている人、児童・障害者・高齢者が事業者に対して、日頃思っていても言いづらいことや、意見・要望・苦情などの相談を受け付け、解決に向けての助言や調査、あっせんを行います。

グラフ1・利用者種別内訳



グラフ2・苦情の内容内訳



社会福祉法人
愛知県社会福祉協議会　運営適正化委員会

電話番号：052-212-5515　ファックス番号：052-212-5514

相談時間：月曜日から金曜日
9：00から17：00（国民の祝日・休日、年末年始は除きます）

秘密厳守！お気軽にご相談下さい

福祉人材センターだより

ご案内

「福祉・介護の就職総合フェア」を開催しました

平成29年6月25日（日）名古屋国際会議場イベントホールにおいて「福祉・介護の就職総合フェア」を開催しました。福祉の職場を目指す方、福祉の仕事に関心のある方を対象に福祉事業所の担当者との個別面談、求人情報の提供、働き方や関係する資格の取得に関する相談等を行いました。今回のイベントには、152法人の参加を頂き、148ブースの出展となりました。当日、会場では、来場された方が、より多くのブースを訪れていただけるよう、スタンプラリーを実施しました。来場者の方は、いくつものブースを訪れ、担当者からの説明を熱心に聞き入っていました。

これからも介護を必要とする人口が増える一方で、それを支える介護分野での慢性的な人材不足が懸念されています。

愛知県福祉人材センターでは、福祉・介護の魅力を発信するとともに、求職者の方にはより多くの求人情報が得られるように、また、求人事業所の方には、福祉介護の人材確保が非常に難しくなっている現状において、少しでも役立てる場を提供できるイベントにしてまいります。

■面談の様子

ご案内

福祉のお仕事にチャレンジ！
～職場体験～

「福祉の仕事に興味はあるけど、どんな職場なの？」「資格も無いけど働けるかな？」と考えたことはありませんか。

職場体験事業は実際の福祉現場において3～5日間の仕事を体験し、やりがいのある福祉の現場を肌で感じていただく事業です。「向いてないかも」と思ってらっしゃる方も、経験者で「もっと違う分野を見てみたい」と思っている方も大歓迎です。

受付は平成30年1月31日まで。詳しくは本協議会ホームページをご覧ください。

ご案内

離職した介護人材の再就職準備金貸付事業について

この事業は、離職した介護人材の呼び戻しと定着を目的としたものです。介護職の知識や経験のある人が、愛知県福祉人材センターに求職登録等を行い、介護職として再就職した場合、再就職準備金として上限40万円以内（一回限り）の貸付けを行います。貸付対象者の要件等、詳細は愛知県福祉人材センター（電話052－212－5516）までお問い合わせください。

平成29年度の研修のご案内

福祉人材センターでは、福祉人財を育成・支援する「福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程」、施設・事業所に勤務する職員や行政・社協職員を対象とした「社会福祉従事者研修」、認知症介護に携わる職員を対象とした「認知症介護実践研修」を開催してまいります。

お申込みは本会ホームページの 研修計画 をクリック！
皆様のご参加を心よりお待ちしています。

お気に入りに登録してください!!
福祉人材センター「研修事業のご案内」のページからお申し込みください↓
http://www.aichi-fukushi.or.jp/intoro/jinzai/kensyu_keikaku.html

「生き生き長寿フェア2017」開催のご案内

今年も10月7日（土）午前10時から、あいち健康の森公園（大府市・知多郡東浦町）にて、「生き生き長寿フェア2017」を開催します。

生き生き長寿フェアは、高齢者を中心に誰もが参加できるイベントで、県民の皆様の健康づくり・社会参加・生きがいづくりを図るとともに、活力と潤いに満ちた長寿社会の実現を目指して毎年実施しています。

当日は、マラソンやウォークラリー等で熱戦が繰り広げられるほか、ニュースポーツ体験やステージアトラクション、スタンプラリーなど、楽しい催しが盛りだくさんです。

また、会場内の大芝生広場では、多くの企業・団体が出展するブースが並び、さまざまなイベントをお楽しみいただけます。

ご家族、ご友人など、みなさんお誘い合わせのうえ、ぜひご来場ください！

■ふれあいウォークラリー大会の様子

■ステージアトラクション（大治太鼓保存会）

交通

JR名古屋駅から
JR大府駅まで13分

大府駅から
バスで約10分

大府駅西口から臨時無料バスを運行します。

マラソン・ウォークラリー参加者募集

この中で行われる「マラソン交流大会」及び「ふれあいウォークラリー大会」の参加者を現在募集しています。参加は無料です。みなさんふるってご応募ください。

なお、「マラソン交流大会」「ふれあいウォークラリー大会」シニアの部の上位入賞者は、平成30年度に富山県で開催される「ねんりんピック富山2018」へ愛知県代表選手として派遣する予定です。

《応募方法》

愛知県内の各市区町村・愛知県県民相談・情報センター、各県民相談室、各市区町村社会福祉協議会等で配布している募集案内チラシ裏面の参加申込書に必要事項を記入のうえ、8月31日（木）まで（当日必着）に、FAX又は郵送でお申し込みください。なお、応募者多数の場合は、先着順としますので、お早めにご応募ください。

お問い合わせ　[TEL]052-212-5521　[HPアドレス]http://aichoju.ec-net.jp/

声援にこたえる活気ある選手の活躍!!

県障害者スポーツ大会を開催しました

平成29年4月15日（土）、星ヶ丘ボウルにて開催したボウリング競技を皮切りに、5月6日（土）の安城市スポーツセンター・体育館での水泳競技・卓球競技、5月20日（土）～21日（日）の豊田市運動公園陸上競技場での陸上競技・フライングディスク競技、5月28日（日）の岡崎市福祉の村体育館でのサウンドテーブルテニスの各大会を開催しました。

県内各地から総勢約1300人の選手のエントリーがあり、選手の一生懸命な姿とたくさんの声援、そして大会を支えていただいた大勢のボランティアの参加で各会場はにぎわいました。

■ボウリング

■水泳

■リレー

■卓球

■ちんどん屋の生演奏と絵の表彰

■フライングディスク

本年度も特別支援学校等に「スポーツをする、応援する絵」の作品募集を行い、優秀作品を安城会場・豊田会場で展示しました。豊田会場では、大会のアトラクションとして協力いただいた、とこなめちんどん「ほんもの屋」の生演奏のなか、最優秀作品の表彰式を行い、選手や来場者の方々から表彰者に祝福の大きな拍手が送られていました。

豊田会場では天候にも恵まれ、交流の場として「ふれあい広場」を開催しました。ディスゲッター体験・手作りおもちゃ・模擬店等の企画はどれも大変好評で、大会参加選手のみではなく、選手のご家族や、一般の来場者の方など、多くの方がともに楽しむ場として定着しています。

また、今年度は学校対抗、福祉サービス事業所対抗のリレー競技を試行的に実施し、チームワークを活かした団体戦に会場全体が大変盛り上がりました。

本年度新たに大会運営に参加していただいた大学、企業の方々の協力もあり、大会は無事終了しました。どの競技も、多くの声援にこたえて、選手たちの全力で競技する姿は活気があふれていました。また、来年、元気な姿でお会いしましょう。

平成29年度 福祉の星フォーラムを開催します!

開催日 平成29年9月24日(日)開会13:00　閉会17:30

会　場 中日新聞本社ビル　6階 大ホール　　参加費 無 料

対　象 福祉現場で働いている方、福祉の仕事に就こうと思っている方、社会福祉に関心のある方

プログラム

総合司会 林 ともみ 氏(H27年度講師)

講　演

講　師 内多 勝康 氏(H21年度講師)

1963年東京生まれ。東京大学教育学部卒業後の1986年、NHKにアナウンサーとして入局。以来、30年間にわたり「首都圏ネットワーク」「生活ほっとモーニング」「NHKスペシャル」「クローズアップ現代」などの番組のキャスターを務め、阪神淡路大震災や東日本大震災の緊急報道にも携わる。2013年、「クローズアップ現代」で病気児童とその家族の医療的ケア問題を自ら企画、取材した経験から、「医療的なケアを必要とする子どもと家族の支援をしたい」と考えるようになり、2016年春にNHKを退職。国立成育医療研究センター内に新しく誕生した、在宅で医療的ケアが必要な子どもと家族のための医療型短期入所施設「もみじの家」のハウスマネージャーに就任。社会福祉士の資格を持つ。

講師:内多 勝康 氏

フレンドリーディスカッション

コーディネーター:渡辺 哲雄 氏(日本福祉大学中央福祉専門学校専任教員)
シンポジスト:福祉現場で働く若手職員
アドバイザー:福祉現場で働く中堅職員

ネットワークタイム

シンポジストを囲んで参加者が自由に本音で語り合います。

お問合せ先　愛知県社会福祉協議会　総務部　　電話(052)212−5500
ホームページアドレス　http://www.aichi-fukushi.or.jp/

第31回ふれあいフォトコンクール作品募集!

毎年県内外から多くの方々に応募をいただいている「ふれあいフォトコンクール」を今年も実施します。

優秀作品には賞金・表彰状等が贈られます。また、本誌「あいちのふくし」の表紙などに使わせていただきます。みなさまのご応募お待ちしています。

募集テーマ

あんしんしていきいきとちいきでふつうにくらせるしゃかい「あ・い・ち・ふ・く・し」を写真にしてみてください。
"安心安全"をイメージできるショット・"いきいき"としたみんなのスマイル
"ちいき"でのふれあいシーン　等

【応募締切】平成29年10月31日(火)
【応募規程】・サイズは四つ切・2Lのみ
・未発表の作品
・作品の裏面に応募用紙を貼付のこと
・組写真は不可

【賞】四つ切部門一最優秀賞(5万円)、優秀賞(2万円)、審査員特別賞(1万円)
愛知県知事賞、県社協会長賞、NHK厚生文化事業団理事長賞、中日新聞社会事業団理事長賞、セーフティマイタウン賞 他
【賞】2L部門一金賞(1万円)、銀賞、銅賞

応募用紙並びに詳細は愛知県社会福祉協議会総務部にお問い合わせいただくか、本会ホームページをご覧ください。

電話番号 (052)212-5500　ホームページアドレス http://www.aichi-fukushi.or.jp/

第30回ふれあいフォトコンクール最優秀作品「ヨーイ・ドン」(後藤年良さん撮影)

みんなで挑戦!! ミニ福祉検定

Q 今年、民生委員制度が創設100周年を迎えました。この節目の年を迎えるにあたり、今後の民生委員・児童委員活動のさらなる発展と充実を図るため、全国各地で様々な活動やイベントが行われています。
全国の民生委員・児童委員について、平成28年12月1日の一斉改選の結果、229,541人の方に委嘱されいますが、愛知県(名古屋市・豊橋市・豊田市・岡崎市含む)においては約何人に委嘱されているでしょう。

1 約10,000人　2 約12,000人　3 約14,000人

こたえは…巻末をご覧ください。

愛知県共同募金会だより

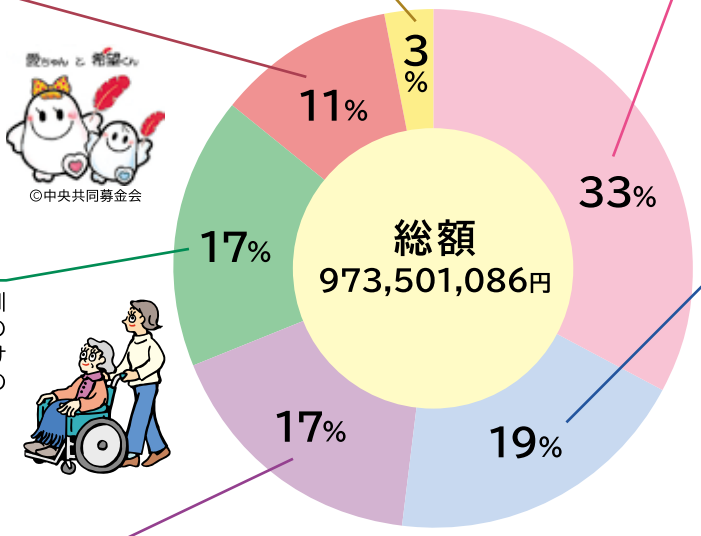
みなさまのご協力が地域の福祉を支えます

平成28年度共同募金実績額 **881,003,142円**

一般募金 713,754,871円　歳末募金 167,248,271円

昨年度の共同募金運動につきましては、県民の皆様方のあたたかいご理解のもと、多額のご協力をいただき誠にありがとうございました。

お寄せいただいた寄付金に、平成24年度災害等準備金取崩27,000,000円と配分予備金等65,497,944円を加え、総額973,501,086円を次のように配分いたしました。



大規模災害に対応するために

災害が起きたときのボランティア活動の支援や福祉施設の復旧など

26,000,000円

みなさまがお住まいのまちの福祉のために

地域で進められるボランティアの育成・研修や様々な福祉活動・相談活動、地域で活動する団体の支援など

321,401,216円

共同募金運動をすすめるために

共同募金運動のお知らせや募金活動資材の購入など

112,754,054円

©中央共同募金会

子どもたちのために

体験学習などの福祉教育、子育て支援事業、子ども会活動の支援、遊具の整備など

181,714,783円

障害のある方のために

職能訓練や生活訓練、作業用の備品の整備など自立にむけた支援、福祉車両の購入など

165,876,593円

高齢者のために

一人暮らし高齢者の交流事業や栄養バランスのとれた食事の提供、介護予防のための生きがい活動の支援など

165,754,440円

共同募金の使いみちが調べられます。
http://www.aichi-akaihane.or.jp/

“赤い羽根配分金ありがとう”メッセージ

特定非営利活動法人四ツ葉の会 指定生活介護事業所ぱれっと（岡崎市）

配分額49万円

配分事業：ケアトランポリン（2台）

この度、共同募金の配分金により、介護用の「ケアトランポリン」を購入させていただきました。車いすを使用している利用者は、安全バーを持っていると職員の支えで立位を保持することができるため、最初は立っているだけで精一杯でしたが、自分で足を曲げ伸ばしして、トランポリンの底面を踏むことができるようになりました。

自閉症候群の利用者は、天井に手が届くくらい高く飛び跳ね、ストレス発散ができて事業所でも落ち着いて過ごせるようになりました。また、自宅でも睡眠が規則的になったと嬉しい報告を受けました。

トランポリンを楽しむ利用者の笑顔は輝いていて、整備して本当に良かったです。ありがとうございました。

ふれあいネットワーク
あいちのふくし 2017.08 no.488

Q&A 福祉の保険

Q ボランティア活動中、熱中症になった場合は補償されますか?

A ボランティア活動保険では、活動中の熱中症も補償対象となります。ボランティア活動時には、こまめな水分補給を心がけましょう。

加入手続き・お問合せは、お住まい又は活動場所の市区町村社会福祉協議会へ

取扱代理店	みらいの保険 (旧 愛知福祉朝日保険サービス) TEL.052-221-0294
引受保険会社	三井住友海上火災保険株式会社 TEL.052-223-4360

平成30年版 「社会福祉手帳」「民生委員・児童委員手帳」ただいま申込受付中!!

県内の社会福祉施設名簿を収録!!(除:保育所)

ご購入希望の方は、送付先住所・氏名・電話番号・希望冊数を記入の上、県社協総務部までFAX・郵送でお申し込みください。本会ホームページから、申込書をダウンロードしていただくこともできます。

写真は平成29年版です。

価　格	1冊530円(税込)
体　裁	大きさ:縦140ミリ×横85ミリ　表紙:ビニール製
主な内容	2018年・2019年カレンダー、月間予定表、週間予定表 (2017年12月～2019年3月まで) 住所録、年齢早見表 資料編(A):関係法令、各種福祉手当・貸付制度の概要 資料編(B)<別冊仕様> 各種相談所、紹介所、社会福祉施設、関係団体、 県・市区町村役場及び社会福祉協議会住所等一覧、 健康10か条(がんを防ぐための新12か条等)
送　料	15冊以上は無料。ただし15冊未満は申込者負担。 (1冊250円、2～14冊380円)
支払方法	請求書を同封しますので、ATMでお振り込みください。
申込先	県社協総務部 FAX 052−212−5501　納　品 11月下旬

ご寄付に感謝

本会が設置している福祉基金にたくさんのご寄付をいただき、ありがとうございました。みなさまからの善意を「あたたかい福祉社会」づくりに活かしていけるよう事業に取り組んで参ります。今後ともご理解とご協力をよろしくお願いします。

ご寄付いただいた方
(平成29年2月～平成29年6月)
〔4件 ご寄附順〕

安藤　孝汰　様……(東 海 市)
山田　正子　様……(稲 沢 市)
三菱重工名誘安全衛生協議会　様…(小 牧 市)
愛知県遊技業協同組合　様……(名古屋市)

ミニ福祉検定 解答

A 2 約12,000人

昨年の一斉改選の結果、愛知県(名古屋市・豊橋市・豊田市・岡崎市含む)の民生委員・児童委員については11,665人の方が委嘱されました。
また、全国における民生委員・児童委員の定数238,352人に対する委嘱数229,541人の割合(充足率)は96.3%となっています。

出典:平成28年度民生委員・児童委員の一斉改選結果について
(http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000148638.html)

問題は…10ページにあります。

日本福祉大学
NFUライセンススクール
介護福祉士・ケアマネジャー受験対策講座のご案内

日本福祉大学NFUライセンススクールでは、忙しい社会人の方でも参加しやすいように様々なプログラムを提供しています。
介護福祉士・ケアマネジャー受験対策では、対面式の講座ならではの熱気を感じていただき、モチベーションを上げるいい機会となりますので、『2017 年度で合格!』を目指す方は、是非ご活用下さい。

介護福祉士国家試験受験対策講座
●直前ポイント講座
日程:12 月 24 日(日)
会場:日本福祉大学　名古屋キャンパス

ケアマネジャー受験対策講座
●直前ポイント講座
日程:9 月 10 日(日)
会場:日本福祉大学　東海キャンパス

社会福祉士・精神保健福祉士国家試験対策講座も開講。
詳しくは NFU ライセンススクール ホームページをご覧ください。

NFUライセンススクール

日本福祉大学名古屋オフィス NFU ライセンススクール事務局
開館日時:月曜～金曜　10 時～ 17 時　閉館日:土・日曜、祝日
TEL:052-242-3069　E-mail:nfuls@ml.n-fukushi.ac.jp
http://www.n-fukushi.ac.jp/block/course/

社会福祉法人愛知県社会福祉協議会 主なお問い合わせ先
■総務部:052-212-5500
■民生児童部:052-212-5506
■福祉サービス利用支援センター:052-212-5513
■福祉生かい振興部:052-212-5521/障害者福祉・スポーツ部:052-212-5523
■地域福祉部:052-212-5502
■施設福祉部:052-212-5509
■福祉人材センター:052-212-5516

R100 「あいちのふくし」は資源や環境に配慮して、再生紙100%・エコインクを使用しています。